

# 今福線

# マップ



2



3

## 今福線とは

今福線は広島と浜田を結ぶ広浜鉄道の島根県側のルートとして昭和8年、山陰本線の下府駅から今福駅までが着工されました。しかし、工事がほぼ完成した昭和15年、太平洋戦争のため中断されました。戦後、ほぼ完成していた今福旧線とは別に浜田駅を起点とする今福新線で再開されましたが昭和55年、国鉄再建法のため工事が中止されました。その後、工事を引き継ぐ事業者も現れず未成線として終わり「幻の広浜鉄道」と呼ばれるようになりました。

現在、下府駅から今福駅跡地間には旧線及び新線のトンネル、橋梁、橋脚等の遺構が残っています。一部の鉄道敷地は道路に転用され使われています。

さて、平成20年10月に土木学会が、「今福線コンクリートアーチ橋群」を平成20年度選奨土木遺産に認定しました。未完成に終わった鉄道のコンクリートアーチ橋が一群として現存し、山間の景観に溶け込み悲運の歴史を伝えている、と言う理由です。

- ### 遺跡巡り時の注意事項
- 自分の出したゴミはすべて持ち帰ること。
  - 喫煙者は吸い殻を捨てないこと。
  - 動植物を大切にすること。
  - 地域の方と会ったときは挨拶をすること。また迷惑をかけること。
  - 事故・怪我が生じた場合は自己責任となるので十分注意して行動すること。

### 凡例

- 駅 駅予定地
- ◡ トンネル
- アーチ
- 橋梁
- 橋脚
- バス停
- 駐車スペースあり



島根県技術士会今福線研究分科会 (2012年12月現在)  
 【島根県技術士会のHP】<http://preshimane.net/>  
 ・この地図は(一社)中国建設弘済会の助成を受けて作成しました。

### ① 下府駅(今福線起点)

2番線ホーム(右側ホーム)のさらに右側(幻の3番線)に今福線が入る予定でした。現在は空地となっています。



### ② 橋梁

線路敷きの下を市道として利用されています。いまだに健全な構造物です。



### ③ 鉄道盛土

ここから約2kmは線路敷きをそのまま市道として利用しています。この付近は当時としては大きな盛土です。



### ④ 鉄道切土

岩盤の亀裂が非常に多いことでダイナマイトの効果が小さくなるため、当時は難工事であったといわれています(岩盤:オンジャク岩盤(三郡変成岩))。



### ⑤ 下府廃寺跡(国指定史跡)

奈良時代初め頃創建し、平安時代前半まで存続したとされ、寺域は100m四方、五重塔も存在したといわれています。



### ⑥ 眺望地点

線路敷き(市道)が約700mほど一直線に見渡せる場所です。今福線でもっとも眺望がきく場所です。



### ⑦ 片山古墳入口

ここから入った丘陵斜面にあります。7世紀中頃に築造された方墳でありこの中に横穴式石室があります。この石室には人魚の肉を食べ長寿と怪力を得たという「先年比丘尼」が住んでいたという伝説があります。



### ⑧ 恩地橋

橋は架け替えられていますが、橋脚は鉄道橋の時の状態でそのまま使用されています。



# 幻の広浜鉄道 ~今福線マップ①~

### ⑨ 上府第一トンネル

以前は市道としてトンネル内を車が通行していましたが、すぐ横の県道開通後に閉鎖されました。県道の向こうには山陰道の高架橋が見えます。



### ⑩ 上府第二トンネル

トンネル内が舗装され、照明も設置されて市道としてトンネル内を車が通行していましたが、現在は通行止めとなっています。



### ⑪ 有福第一トンネル西側に建つ小屋

この小屋は鉄道盛土の上に建っています。地面が平らで丁度良かったのでしょう。この小屋の反対側にはトンネル西口があります。



### ⑫ 有福第一トンネル出口

トンネルを見つけるのが大変なくらい、周辺の自然に溶け込んでいます。近くまで接近しないと見えません。



### ⑬ 有福第二トンネル

有福第一トンネルよりもさらに見つけるのが難しいくらい完全に藪に埋もれています。(写真はトンネル、橋台があります)



### ⑭ 有福第三トンネル

対岸のトンネル坑口と橋脚のつながりに未成線の無念さを感じさせます。カーブミラーとの取り合いが面白い。近くに県道の広い路肩があり、容易に駐車が可能です。



### ⑮ 橋脚

対岸にひっそりと佇んでいます。河川の改修工事等があれば邪魔者扱いされ撤去されてしまうかもしれません。



### ⑯ 橋脚

まるで木々の中で隠れん坊をしているように埋もれた状態です。目をこらして見なければ、なかなか見つかりません。



# ① 橋脚群

今福線旧線では、最長の橋梁。円形の橋脚(橋の土台)は流水の影響を小さくするためのもの。全国的には舟形や小判形が多く、意外と貴重な存在です。山側に登ると橋脚があります。



# ⑤ 4連アーチ橋

今福線アーチ橋群のシンボリック的存在。コンクリートのアーチ橋は、太平洋戦争による鉄不足の時代に多用されたもの。今福線のアーチ橋群も、その影響を受けていると思われます。



# ⑦ 今福第五トンネルと橋脚

「今福第五トンネルの北と南の坑口側には各々橋台と橋脚があります(写真は北側坑口からみた橋台と橋脚)。このトンネルの中には横穴を掘ってJR西日本の地震計が設置しており、今福線のトンネルの中で唯一活用されています。



トンネル坑口(南側)



トンネル坑口(北側)

**旧線と高速道路**  
浜田自動車道の高架橋と4連アーチ橋を見渡せるスポットがあり、新旧のコントラストは興味深いです。



# 幻の広浜鉄道 ~今福線マップ②~



# ② 線路敷とサイフォン

今福線旧線の線路敷きです。サイフォン式の通水塔や石積み擁壁が間近で見られます。



# ③ 5連アーチ橋

5連のアーチ橋は、県道として使用されています。県道下に降りて眺めると面白い構造であることが解ります。



# ④ 今福第三トンネル

5連アーチ橋の南にある今福第三トンネル。路線敷きは舗装されていますが、現在は通行止となっています。



# ⑥ 今福第四トンネルと1連アーチ橋

4連アーチ橋を渡り、トンネルをくぐった先の1連のアーチ橋です。



# 幻の広浜鉄道 ～今福線マップ③～

①おろち泣き橋  
入口案内

地元(寿会)により設置された案内看板です。(浜田方面から見る)



②おろち泣き橋  
入口

地元により設置されました。ドアを開け、50m進んでください。



③おろち泣き橋



この橋の下の1点に立つと、目の前の橋からある音が大きく聞こえる場所があります。この1点に立つ人だけに「おろち」が泣く声が聞こえるのです。



④おろち泣き橋の  
橋名碑

地元により建立されました。



⑤案内看板

地元町内会により設置された幻の芸術、広浜鉄道の案内看板です。



⑥鉄楽の道

新線の第二下府川橋梁から下長屋トンネルまで真っ直ぐに続きます。この区間は、綿秋の廃線跡風景が素晴らしい「哲学の道」ならぬ「鉄楽の道」です。



県道佐野波子停車場線

旧佐野小学校

佐野駅

県道浜田八重可部線

旧線(4連アーチ橋、写真手前)と新線(第一下府川橋)の分岐点です。映画「天然コケッコー」のロケ地となりました。

浜田自動車道

今福小学校

③おろち泣き橋  
(4連アーチ橋)



⑦旧線と新線の  
分岐点



今福線(新線)

立ち入り禁止区間

⑪下長屋トンネル

⑧4連アーチ橋

美しい渓流がある全長47mの橋梁です。河川敷からの眺望は絶景です。



第二下府川橋梁

第一下府川橋梁

※立ち入り禁止区間につき、  
注意してください

⑩今福第六トンネル

下長屋集会所前

⑬今福橋梁

高速金城入口

⑭石見今福駅

県道今福芸北線

⑨4連アーチ橋

⑨4連アーチ橋

全長33mの橋梁で今福第六トンネルと近接しています。



⑩今福第六トンネル

全長45mのトンネルです。トンネル坑口にある水管橋は、現在も用水路として利用されています。



⑪下長屋トンネル

全長1633mも続く真っ直ぐなトンネルです。(今福側 坑口)



⑫新線と旧線の  
分岐点

右側が新線、左側が旧線です。生活道路として利用されています。



⑬今福橋梁

今福線が開通されなかったことを悲しむかのように寂しげに残された橋梁です。



⑭石見今福駅

旧国鉄の境界杭、プレート、擁壁など駅の名残が数多く点在します。



⑮今福線工事起点

今福線の工事起点です。ここから浜田に向かって、工事は進められました。

